

確実な情報伝達のために。 見やすい、わかりやすい、使いやすい プリント・ユニバーサルデザイン。



※サンエー印刷オリジナルのプリント・ユニバーサルデザインマーク
※P.12~15は、株式会社イワタの『イワタUDフォント』を使用しています。

新聞、雑誌、電車路線図、カレンダー、
チラシ、ポスターなどの印刷物やWEB。

私たちは普段の生活の中で、
視覚から約9割の情報を得ています。

しかし、視覚から
十分な情報が得られていない方々は
実はとても多いのです。



あるアンケートでは、
7割以上の方が印刷メディアに対して
不満を持っているという結果が出ています。

理由は上位から
『色づかい』『読みづらい』
『情報量が多い』『文字が小さい』など。



現在日本では、
65歳以上の高齢者が約23%、
色弱者の方が約320万人と
多くの方が視覚に何らかの不自由を感じています。
また、40歳以上の白内障・老眼予備軍を含めると
日本の人口の約半数といわれています。



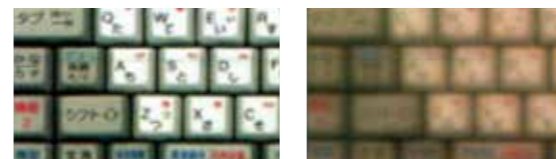
印刷も、バリアフリーに。
印刷メディアを手がける私たちが
『高齢化社会への配慮』『色弱者への配慮』を前提とした
ユニバーサルデザインに取り組むことが、
現代社会のニーズに応える近道になるはずです。

高齢化社会への配慮



高齢者数は増加の一途をたどっています。
高齢化社会は今後も続き、2035年には約3,700万人を超える予想
もあります。高齢になるにつれて白内障・老眼など視覚機能の低下
に伴い、視覚からの情報取得が困難になっていきます。
視覚機能の衰えが現れるのは40歳以上といわれていますが、日本
では人口の半分以上がその領域に入り、白内障・老眼などの予備軍
といえます。

：白内障患者の見え方



一般的な見え方

白内障シミュレーション

資料提供/株式会社イワタ

：ユニバーサルデザインの活用

月日曜	対戦カード	開始時間	球 場	対戦カード	開始時間	球 場	対戦カード	開始時間	球 場
5/14木	横一巨	18:00	横 浜	中一ヤ	18:00	ナゴヤ	神一広	18:00	甲子園
15金	ヤ一神	18:00	神 宮	中一横	18:00	ナゴヤ	広一巨	18:00	マツダ
16土	ヤ一神	18:00	神 宮	中一横	15:00	ナゴヤ	広一巨	14:00	マツダ
17日	ヤ一神	18:00	神 宮	中一横	14:00	ナゴヤ	広一巨	13:30	マツダ
18月									

5月19日~6月21日 両リーグ交流戦

6/26金	巨一ヤ	18:00	東 京	神一横	18:00	甲子園	広一中	18:00	マツダ
27土	巨一ヤ	18:00	東 京	神一横	18:00	甲子園	広一中	14:00	マツダ
28日	巨一ヤ	14:00	東 京	神一横	18:00	甲子園	広一中	13:30	マツダ

改善前 一般的なフォントを使用

月日曜	対戦カード	開始時間	球 場	対戦カード	開始時間	球 場	対戦カード	開始時間	球 場
5/ 6木									
7金				中一ヤ	18:00	ナゴヤ	神一広	18:00	甲子園
8土	横一巨	18:00	新 潟	中一ヤ	15:00	ナゴヤ	神一広	14:00	甲子園
9日	横一巨	14:00	新 潟	中一ヤ	14:00	ナゴヤ	神一広	14:00	甲子園

5月12日~6月13日 両リーグ交流戦

6/18金	巨一中	18:00	東 京	横一神	18:00	横 浜	広一ヤ	18:00	マツダ
19土	巨一中	14:00	東 京	横一神	14:00	横 浜	広一ヤ	14:00	マツダ
20日	巨一中	14:00	東 京	横一神	13:30	横 浜	広一ヤ	13:30	マツダ
21月									

改善後 ユニバーサルフォントを使用・色に明度差をつけた

上記掲載例は、実際にユニバーサルデザインを取り入れた制作物の一部です。
UDフォントの使用などの改善をし、ユニバーサルデザイン適合製品として
NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会より認定を受けました。

色覚タイプが異なる方への配慮

人の目の動きで重要な働きをするのが光のセンサーにあたる視細胞で、そのひとつが錐体(すいたい)と呼ばれ色を見分ける機能を担っています。

錐体には『L錐体(R)』『M錐体(G)』『S錐体(B)』があり、それぞれが『色の3原色(RGB)』を感じています。錐体に異常があると、一般色覚者と異なる色の感じ方となります。色弱者は、日本人の男性では約20人に1人、女性では500人に1人、日本全体では約320万人が生活しています。

色覚タイプの違いに関わらず、地下鉄路線図や災害ハザードマップなど、色だけでなく形状やデザインでも識別できるような工夫が必要です。



最近、文字が見えづらくてなあ



字

文字は高齢化による視力低下で判別が難しくなります。
また、40代になると老眼・白内障患者が増えるなど様々な視覚機能の低下があります。
そのような方々に配慮した書体の選定・文字の配置を実践します。

書体の選定

文字の大きさや行間隔・文字間隔はデザインの基本。そして一般的に書体は、明朝体よりもゴシック体の方が見やすいとされています。

サンエー印刷では、UDの考えから文字の見やすさを追求し開発されたユニバーサルデザインフォントを使用しています。



●まぎらわしい画線をなくシンプルデザイン



●飛び出しを削除し、大きさを最適化



●濁点部分のギャップを十分確保し視認性を高める



●独立したシルエットで判別しやすく



資料提供/株式会社イワタ

色

印刷物の色の使い方に配慮が足りないと、必要な情報が伝わらない場合があります。
色の見え方の違いに関わらず情報が伝達できるような色の配置を実践します。

色の組み合わせ

色弱者の方は『青と紫』『深緑と茶色』『赤と緑』『水色とピンク』など色の組み合わせによって識別しづらい場合があります。また、彩度の高い色に比べ『灰色と淡い水色』『灰色と淡い緑』など彩度の低い組み合わせは識別がより困難になります。色の組み合わせには十分な配慮をし、情報を伝達します。

	青	紫	水色	ピンク	赤	緑	オレンジ
一般的な見え方							
色の見分けがしにくい場合のシミュレーション							

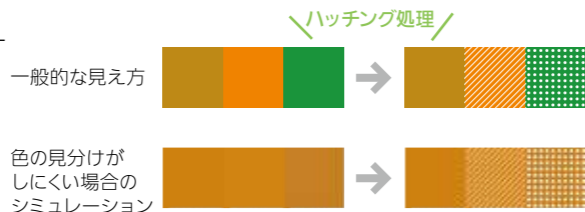
技

色の組み合わせだけでなく、地紋やパターン、さらに説明の文字を入れるというようなさまざまな手法を組み合わせることで情報を伝達できるデザインを実践します。



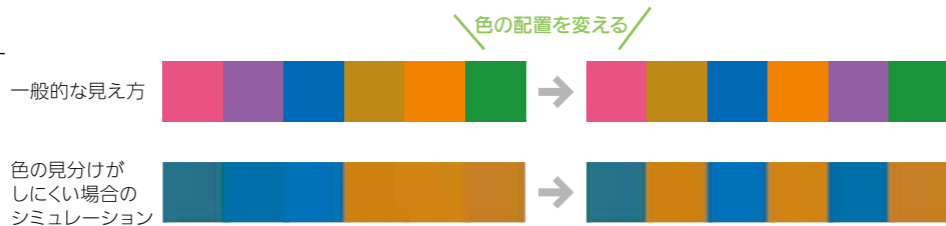
ハッチング・セパレーション

ハッチングとは色を塗った部分に『柄』を加え、情報を伝達しやすくする技法です。セパレーションとは色と色の境目に『分け目』を加え、情報を伝達しやすくする技法です。



色の配置

識別しづらい色の組み合わせであっても、順番(配置)を変える事により、情報を伝達しやすくする技法です。



音

目の不自由な方のために音声コミュニケーションのツールがあります。



視覚障がいがある方のために開発された二次元音声バーコード(SPコード)を印刷物に入れ、専用の読み上げ装置で読み取らせると、文字情報が音声として流れます。



型

ページが簡単にめくれるユニバーサルデザインを配慮した断裁技術。

簡単にページがめくれるよう印刷物をななめに断裁する技術を採用することで、カタログやノート、手帳などの製品や、幅広い分野での使用シーンが考えられます。



技術協力：株式会社大成美術印刷所

